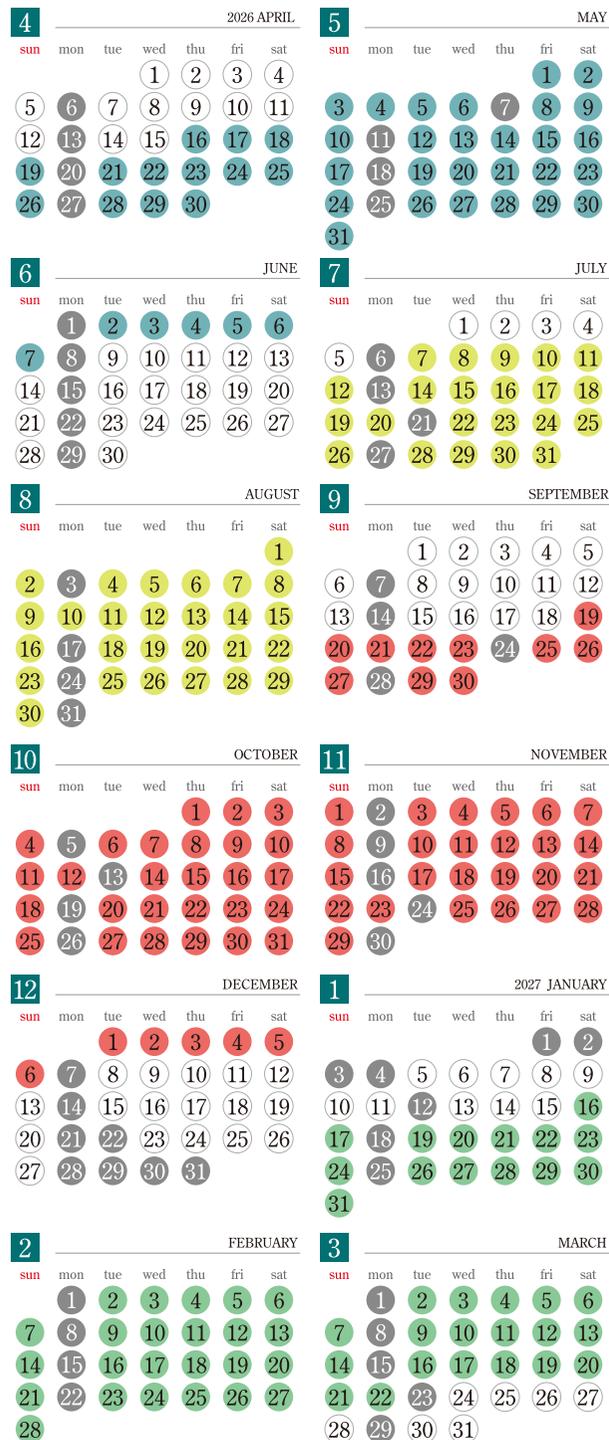


2026-2027 Calendar

- : 休館日
- : つく みな perhonen
- : ウジエヌ・ブーデン展
- : Sustainable World 佐藤大史・磯部昭子
- : 中林梧竹展



ご利用案内

[開館時間] 午前9時～午後5時(入場は午後4時30分まで)

[休館日] 月曜日(休日の場合は次の最初の平日)
12/22Ⓞ
年末年始(12/28Ⓞ～1/4Ⓞ)
※8/10Ⓞは臨時開館

[観覧料]

	コレクション展示			企画展
	電子チケット	窓口	団体	
一般	700円	800円	630円	展覧会ごとに 定めます。
大学生	350円	400円	310円	

※団体は20名以上 ※70歳以上の松本市民はコレクション展示無料
※障がい者手帳携帯者とその介助者1名無料

[施設使用] 美術教育普及のため、以下の施設が使用できます。
詳細は「施設使用のご案内」をご覧ください。

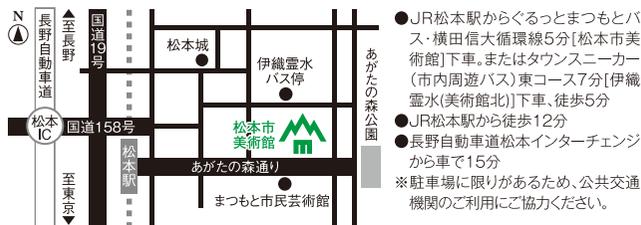
- 市民ギャラリーA・B ● 多目的ホール
 - 市民アトリエ ● 講座室 ● 版画室
 - こども創作館 ● 市民創造ひろば
- ※企画展開催期間中は、ご使用になれない施設があります。

[無料施設] 下記の施設は観覧券がなくてもご利用いただけます。

- ミュージアムショップ(1階) ● アートライブラリー(3階)
- オープンギャラリー(3階)

[イベント] ● 6/10Ⓞ キャンدلナイト
※企画展にあわせ、「子育てパパママの美術鑑賞日」実施

[カフェレストラン] SHOKUDO & CAFÉ yum yum (TEL.090-7753-8686)



〒390-0811 長野県松本市中央4-2-22
[TEL] 0263-39-7400 [FAX] 0263-39-3400
[URL] <https://matsumoto-artmuse.jp>



展覧会年間スケジュール

2026.4 ▶ 2027.3

学都松本

心をひらく学びの森の美術館
Museum opens your heart



つぐ minä perhonen

■会期／2026年4月16日[木]～6月7日[日]
■会場／企画展示室

2025年に創設30周年を迎えたファッション・テキスタイルブランド、ミナ ペルホネン (minä perhonen)。本展では、100年後も存続するブランドとしてのあり方を模索しながら独自のプロダクトを生み出してきたその活動を、貴重な原画やテキスタイルにいわえ、刺繍、織、プリント工場の様子などを通じてご紹介します。流行に左右されず、普遍的な価値を追求するミナ ペルホネンのものづくりのありかたに触れられる展覧会です。



"surplus" 2003-04 "a/w



"sea sky" 2025-26 "a/w
Photo: Keita Goto (W)



刺繍工場での補修作業 手元風景
Photo: Yayoi Arimoto

ウジェーヌ・ブーダン展

■会期／2026年7月7日[火]～8月30日[日]
■会場／企画展示室



1

「印象派の先駆者」として知られるフランスの画家、ウジェーヌ・ブーダン(1824-1898年)。近代風景画の発展に重要な役割を果たし、クロード・モネをはじめ印象派の画家たちに大きな影響を与えました。生涯の多くをノルマンディー地方で過ごし、空や雲、海の風景を数多く残しています。生誕200年を記念する本展では、ブーダンならではの作品群をフランスの美術館と個人コレクションからお届けします。



2

1.ウジェーヌ・ブーダン《ベルク、出航》1890年 油彩・カンヴァス ランス美術館 (Inv. 907.19.34) ©Christian Devleeschauwer
2.ウジェーヌ・ブーダン《ヴェネツィア、税関とサンタ・マリア・デル・サルネテ聖堂》1895年 油彩・板 ランス美術館 (Inv. 907.19.39) ©Christian Devleeschauwer

Sustainable World

■会期／2026年9月19日[土]～12月6日[日] ■会場／企画展示室

— 佐藤大史・磯部昭子 ふたりの視点から —



©Daishi Sato



©AKIKO ISOBE

写真家・佐藤大史(1985年-)は、アラスカの大自然をありのままの姿で伝えるため、現地での撮影にこだわり続けます。フォトグラファー・磯部昭子(1977年-)は、人物や日常を被写体としながら、独自の感性でその奥底に眠る価値観を提示してくれます。写真という同じメディアを選びながらも、異なるアプローチで対象と向き合う視線の先にあるのは、変わりゆく現在とその価値観、そして、未来への警鐘と希望。本展では、幅広い表現領域で世界をけん引するセイコーエプソンとの共創によって、ふたりの視点が超高解像度で現れます。

生誕200年記念 中林梧竹展

■会期／2027年1月16日[土]～3月22日[月] ■会場／企画展示室

日下部鳴鶴、巖谷一六とともに「明治の三筆」と称される書の大家・中林梧竹(1827-1913年)。50代半ばに中国清朝に渡り、当時最先端の書法を学んで独自の書境を拓き、各書体において異彩を放ちました。先祖は松本市筑摩の中林神社付近の出身ですが、出生のルーツが松本にある事実はあまり知られていません。本展では、代表作を中心に信州や松本平野の作品資料を展示します。日本の近代書道に新風を吹き込んだ「明治の書聖」の、今なおモダンな作品の数々をご堪能ください。

1.《慈惠》1911(明治44)年 徳島県立文学書道館蔵 2.《五言絶句》1903(明治36)年 3.《竹園》1900(明治33)年頃



1



2



3

特集 草間彌生 魂のおきどころ

■会期／通年(展示替えのため休室の場合あり)
■会場／コレクション展示室

松本市出身の世界的前衛芸術家・草間彌生(1929年-)の拡大特集展示。松本時代の初期作品から近年のシリーズ「わが永遠の魂」に至る、魂の軌跡を一堂に展示。草間彌生の現在と原点を故郷松本でご体感ください。

1.《大いなる巨大な南瓜》2017年 2.《果てしない人間の一生》2010年 ©YAYOI KUSAMA



2

コレクション展示

第1期:2026年 6月 2日[火]～ 8月23日[日]

第2期:2026年 8月25日[火]～11月15日[日]

第3期:2026年 11月 17日[火]～2027年2月14日[日]

第4期:2027年 2月 16日[火]～ 5月 9日[日]



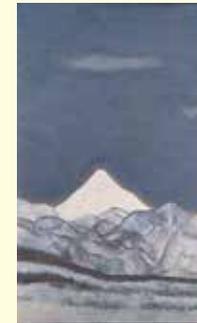
《光》1984年

上條信山 記念展示室

松本市出身の書家・上條信山(1907-97年)の生涯にわたる書を収蔵。ほとぼるる墨、躍動する線、力強い表現から生み出される爽快で響きのある空間が印象的です。

田村一男 記念展示室

信州の山と自然をこよなく愛した画家・田村一男(1904-97年)の生涯にわたる絵画を収蔵。自然のもつ空気を独特のマチエールと存在感で表現した風景画には、単なる写実とはちがう世界観がひろがります。



《北信濃》1984年

池上百竹亭コレクション展示室



正岡子規《子規居士臨模古翰題詠(「藤娘ほかに」)》1902年

池上喜作(号・百竹亭/1890-1978年)が、正岡子規への憧れをきっかけに蒐集した文芸美術資料のコレクション。文人たちの達観した境地、清らかな画境を示す作品をお楽しみください。



細川宗英《王妃像 No.1》1984年

オープンギャラリー

松本生まれの彫刻家・細川宗英(1930-94年)の作品を中心に、収蔵する立体作品などを展示公開しています。

市民ギャラリー等展示のご案内

4. 7㊄- 4.12㊄ フォトイラスト短歌るる展
—宮田透の世界—

4.10㊄- 4.12㊄ 第33回つくし会書展

4.14㊄- 4.19㊄ 第38回二科長野支部展

4.22㊄- 4.26㊄ 京都芸術大学甲信越会作品展

5.12㊄- 5.17㊄ わたし流まかどスケッチ展

5.20㊄- 5.24㊄ 型給染 三代澤本寿展

5.26㊄- 5.31㊄ 8つの絵画教室作品展

5.29㊄- 5.31㊄ 第29回中信地区高等学校写真展

5.30㊄- 5.31㊄ 日本いけばな古流
美・青会 いけばな展

6.20㊄- 6.28㊄
※22日休館 第78回中信美術展

6.30㊄- 7. 5㊄ 高橋節郎生誕110年
小口正二生誕120年記念
第45回日本現代工芸美術長野会
同時開催 作家小品展

7.12㊄- 7.20㊄
※13日休館 第67回松本市芸術文化祭参加
松本詩人会
平和を祈る詩の展示会・朗読会

7.23㊄- 7.26㊄ 第16回長野一水会展

8.12㊄- 8.23㊄
※17日休館 第17回地域現代作家代表作展

8.25㊄- 8.30㊄ 第19回長野二紀展

9.19㊄- 9.23㊄ 第40回若駒会長長野県支部展

9.29㊄-10. 4㊄ 第24回信州現展

10.10㊄-10.12㊄ 第67回松本市芸術文化祭参加
松本地区書道展

10.16㊄-10.18㊄ 第67回松本市芸術文化祭参加
松本学生美術展

10.23㊄-10.25㊄ 第67回松本市芸術文化祭参加
長野県中信地区高等学校書道展

10.29㊄-11. 1㊄ 第67回松本市芸術文化祭参加
市民美術工芸展

11. 4㊄-11. 8㊄ 第22回春陽会信州研究会展

11.18㊄-11.22㊄ 第67回松本市芸術文化祭参加
市民合同展

11.26㊄-11.29㊄ 26「山の便り」日本山岳写真協会
松本支部展

12. 6㊄-12.13㊄
※7日休館 アカンアトンプォ展

12.18㊄-12.20㊄ 長野県書道展

1. 6㊄- 1.17㊄
※12日休館 第25回美術館友の会会員作品展

1.22㊄- 1.24㊄ 松本第一高等学校美術工芸系列
生徒作品展

2.10㊄- 2.14㊄ エクセラン高等学校美術科26期生
卒業制作展&美術科展

2.20㊄- 2.21㊄ 第21回建築祭「見つめようくらしの
場 ひと、まち、建築 2027」

※展覧会の期間・名称等変更することがございます。また、申し込みにより随時追加がありますので、詳しくはお問い合わせください。